

【美里町 オリコンサルと協定締結 「土田畑村」を指定管理】

「土田畑村」を指定管理

美里町 オリコンサルと協定締結

美里町は11日、「でんえん土田畑(こたはた)村」の愛称で親しまれる「交流の森・交流館」(同町木間塚)の新たな指定管理者オリエンタルコンサルタンツ(本社・東京都渋谷区、野崎秀則代表取締役)と基本協定を締結した。

地域経済活性化に期待

同施設は、本格的にグハウス5棟が立ち並び宿泊施設で、1994年9月にオープン。オープン当初から管理運営を担ってきた南郷ふれあい公社が来年3月で解散することから、町は新たな指定管理者を募集していた。

オリエンタルコンサルタンツは、公共施設などの社会基盤整備事業の計画や設計、運営管理などを行っており、国内外で事業を展開。2015年に美里町の業務委託を受けたことを機に翌年、同町に美里事務所を開設した。

美里町近代文学館で開かれた締結式には、関係者ら約30人が出席。相澤清一町長と美里事務所の佐藤雅樹所

長が協定書に調印した。式後、同施設の館長を務める山本和幸さ

んが①利用者ニーズを捉えたサービス提供②町民と連携した地域振興策の実施③SNSなどを活用した広報活動④の三つの運営方針を

野崎代表取締役は「町の人たちの熱意が可能性を広げる。地域との連携を進め、世界農業遺産も視野に入れ

説明。田穂え体験や音楽フェスティバルといったイベント、売店の設置、地元高校との商品開発などをプランとして紹介した。



協定書に調印した相澤町長(左から2番目)と佐藤所長

て町の魅力をPRしていきたい」と力を込めた。相澤町長は「観光物産の拠点施設とし

て、地域経済の活性化に期待する」と述べた。指定管理期間は来年4月1日から5年間。